

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第3回坂戸市健康なまちづくり審議会
開 催 日 時	令和5年2月15日 13:30～15:00
開 催 場 所	坂戸市立市民健康センター機能訓練室
会 長 の 氏 名	金子 嘉徳
出席者（委員）の 氏名・出席者	清水要 川畑著洋 山王丸靖子 真殿仁美 金子嘉徳 深井智子 稲垣弘美 志村和人 倉知晃 鈴木博貴 助川文子 11名
欠席者（委員）の 氏名・欠席者	中西明美 角田津英子 2名
傍 聴 者 数	1名
事 務 局 職 員 の 職 ・ 氏 名	こども健康部長 高山 康彦 こども健康部次長 井上 晋 市民健康センター所長 有田 さおり 市民健康センター副所長 片野 恵理 市民健康センター所長補佐 片桐 美佳 市民健康センター健康政策係主任 吉田 有里 市民健康センター健康政策係主事 中村 葉 市民健康センター母子保健係主任 高橋 貴沙羅
地 域 計 画 (株)	中林大樹
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 審議事項 （1）第3次坂戸市健康なまちづくり計画策定に係る「こころとからだの健康に関する市民アンケート」の調査結果について （2）子育て世代に関するアンケート調査の結果について （3）その他 健康日本21（第二次）最終評価報告書（概要）について 4 その他 5 閉会
配 布 資 料	本日の会議次第 資料1-1 こころとからだの健康に関する市民アンケート調査報告書（速報版） 資料1-2 前回アンケート結果（平成30年度）との比較資料 資料2 子育て世代に関するアンケートの調査の結果について（速報版） 資料3 健康日本21（第二次）最終評価報告書概要
	議事の経過
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事 務 局	審議事項（1）説明
会 長	何か質問がありますか。

<p>委員</p>	<p>送って頂いたアンケート調査報告書の速報版を読ませていただきました。いくつか良かった点、気になる点がありましたので、計画策定にあたって私の視点からご意見を述べさせていただきます。</p> <p>速報版の 40、41 ページの設問にある「つながり」についてですが、「つながりはある」という回答はある程度あるものの、「助け合えるほどの関係」はそこまでないことが伺えます。</p> <p>また、地域活動に参加に関する設問では「ほとんど参加していない」という回答が多く、「つながり」や「助け合える関係」は、地域活動の参加を通じて構築できていないのではないかと考えられます。</p> <p>71 ページの健康情報の入手について、自由記述で記載された内容だと思いますが、この設問とこの自由記述を読むと、地域活動を通じた情報入手があまりないことが伺えます。</p> <p>健康づくり応援店を知らない人も結構多い結果となっており、地域の情報について市民が入手できていないのではと感じます。</p> <p>また、31 ページ「相談しない理由」の設問で、だれにも迷惑をかけたくないから相談しないという回答が多くなっています。</p> <p>ここまでで、地域のつながりや人間関係が、地域活動を通してつながりを強化していくことが望ましいとされつつも、実際にはそうになっていないことが示されているのではないのでしょうか。</p> <p>38 ページ「普段自分で健康だと思うか」について、「とても健康」「まあまあ健康」の回答が多くなっているが、23 ページでは健診を受けていない人がおよそ 5 割いることが分かります。これはつまり、診断等の客観的なものではなく主観によるものではないかと思えます。</p> <p>これらの結果を踏まえ、次期計画を、まちづくりをどのように策定すべきか考えてみました。</p> <p>まず一つが「人材育成」。</p> <p>2000 年代に入ってから特に国立大学が熱心に取り組んできたのですが、ケアサポーター制度というのがあります。坂戸市で健康サポーターというのを取り入れて、市民同士で健康についてお互いの情報交換し、お互いが健康について意識し合う。健康サポーター、ケアサポーター、お達者体操などの枠組みもあるので、それをもっと拡大して、健康に関する人材を育成してはどうかと思えます。</p> <p>もう一つが「環境づくり」。</p> <p>歩くことを中心としたまちづくりを目指す。他の都市事例を見ても、例えば大阪市では御堂筋を工事しています。御堂筋ではこれまで車中心でしたが、人が歩くことで出合いを増やすという風になってきています。</p> <p>坂戸市がこれからどういう概念に基づいてまちづくりを行っていくのか、壮大なプロジェクトだと思いますが、既にこの計画が 3 期目に入っていることもあり、次のステップに入っても良いのではないのでしょうか。私からは以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見はありますか。</p>

委 員	このアンケートをみて驚きました。私の教室では皆さん、地域活動や健康診断していると聞いています。皆、健康意識は高いと思っていました。しかしアンケートをみると、70～80歳代は特に低いと感じました。私の教室に参加している方が特別そうなのかなと感じました。
会 長	ありがとうございます。 他に何かご意見、質問がありますか。
委 員	埼玉県では健康マイレージを取り入れているので、坂戸市でもこれを流用したらどうでしょうか。アンケートでも散歩や歩くことには興味があるようなので、そこに参加した人同士での情報交換などもすすむのではないのでしょうか。
事 務 局	ありがとうございます。健康マイレージにつきましては、坂戸市でも県と共同で取り組んでいるところです。現状3022名の方が参加している状況です。年代的には60、70代の方が多のですが、若い方も参加が見られます。これによる効果なのか検証は必要ですが、歩く時間が増えているようです。インセンティブ、抽選会も行い、健康マイレージに参加している方の意欲促進にも取り組んでいます。
委 員	毎回でなくても良いので「広報さかど」で発信してはどうでしょうか。私は健康マイレージのことを知らず、近所の人から聞きました。かなりの方が登録しているみたいですが、私以外にもご存知ない方も多と思うのでいかがでしょうか。
事 務 局	ありがとうございます。広報等の周知が足らなかったと思います。年に一回、マイレージの状況等を記載していますが、まだ情報発信の方法等を検討が必要と思いますので、来年度に向けてさらに周知していけるように進めていきます。
会 長	他にご意見、ご質問のある方はいらっしゃいますか。 時間の兼ね合いもありますので、改めてお気づきの点がありましたらこの後お願いします。 では次の審議事項に移ります。
事 務 局	審議事項（2）説明
会 長	何か質問がありますか。
委 員	子育て世代に関するアンケートの自由記述21ページに、若者が運動できる場所を増やしてほしいとあります。坂戸市で、雨でも運動できる場所はあるのでしょうか。
事 務 局	ありがとうございます。市内にある雨でも運動できる場所としましては、入西にある健康増進施設「サンテさかど」、市民運動公園、各地区の公民館、勤労女性センター、小中学校の体育館も貸出可能です。各施設、夜間も使用可能です。
会 長	他に何か質問がありますか。 皆様からご意見いただければと思います。いかかでしょうか。
委 員	坂戸市の食育推進委員会に所属しております。女子栄養大学を中心に小中学校で、食育プログラムを中心に家庭科・道徳・特別活動の授業を通じて啓発・指導を図っています。今年度、小学校4年生を対象に、また

		<p>全ての保護者を対象に食育に関するアンケートをとりました。非常に多岐にわたるデータが取れています。集まった沢山のデータをこの委員会でフィードバックできればと思います。</p> <p>また、アンケートをみますと各学校区によって大きな差があります。その内容は食育、健康、体力に関して、学力もそうです。この貴重なデータを情報発信していければと思います。食育の問題は次世代の子供を育成することにつながり、非常に重要です。</p>
会	長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
委	員	<p>歯科医師としてお話しさせていただきます。子育て世代の方、妊婦の方はあまり歯科に来られる機会がないようです。妊娠したら早めに一度歯科の受診を勧めていただければと思います。一般の方では、60～70代の方は定期的に通院されている方が多いですが、働く世代は痛くならないと来ません。そうなるからでは治療に時間がかかるため、何か来院するきっかけがあれば良いのかなと思います。年代によって歯の健康に対する意識の差が激しいのかなと思います。</p>
会	長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
委	員	<p>私は「元気にし隊」という市民の健康をサポートするボランティアをしています。葉酸一つとっても妊婦の方は知っていますが、一般の人はこれだけ活動をしてきても中々周知が上がってこないなと感じます。また情報の入手について、若者はネット、それ以外は紙媒体と二極化していると感じました。幸せ度について、日本人あるあるだなと感じたのが、点数7～8が多いなと思いました。</p>
会	長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
委	員	<p>子育て世代に関するアンケートの自由記述の中に、なるべく無農薬野菜を食べたいという意見がありました。うちでは25種類くらいの野菜を市内スーパーにて販売しています。皆さんは無農薬についての情報をどれくらい知っているのでしょうか。農薬には生物農薬と化学農薬があります。生物農薬はでんぷん質が主要成分で、回数制限がほぼないです。何回使っても農薬使用にカウントされない。そういうものが無農薬栽培で使用されています。うちでは無農薬ではなく化学農薬を使用しています。昔の農薬と違って、今の農薬は回数制限が少なく使用回数を少なくしています。また、実際に販売されている野菜は農薬が効かなくなってきたように感じます。生産者として言わせていただくと、国内の生産物は安心安全に作られていることは皆様に知っていただきたいと思います。</p>
会	長	<p>ありがとうございました。</p> <p>企業の立場から、いかがでしょうか。</p>
委	員	<p>食育について注目したのですが、アンケートをみると関心が高いことが分かります。弊社でも食育を推進しており、企業が取り組んでいる手法</p>

		を取り入れるのも良いのではないのでしょうか。	
会	長	ありがとうございました。 何か他にご意見等ありますでしょうか。	
委	員	まず、市民アンケートの回収率が高いと感じました。40%は非常に高いと思います。それから委員のご意見で、身近な人達の健康に対する興味関心は高いのに、アンケートをみると低いのはなぜなのかということでしたが、委員の教室に通われている方々の特別意識が高く、アンケート結果が一般の方々の健康に対する意識を表していると思います。 また、食に対する影響のお話がありました。野菜と果物は体にいいから子供はたくさん食べます。これの要因分析が海外でされているのですが、女性の学歴が高いほど食生活が良くなるという調査結果が出ています。 子育て世代のアンケート結果を見ると回答者の94%が女性で、こういうところにもジェンダーがでていたと感じました。 幸せ度の話では、子育て世代の幸せ度が高いという結果が出ていますが、これは非常にいい話で、子育ては楽しいと伝えることが大事かと思えます。というのも、公的補助をしても出生率増えないという結果がスウェーデンの研究で出ています。これはつまり、日本で公的補助を増やしても出生率は増えない、それなら子育ては楽しいことだということ伝えていく方が良いのではないのでしょうか。 運動の場所や人との関わり合いの話がありましたが、最近の方々は他人との関わり合いを持たないようにしており、あるマンションではお互いにトラブルの原因になるから挨拶をしないそうです。こういった希薄な人間関係をどうしていくか考えないといけないと思います。 広報を皆さん結構見ているなと感じました。私も見っていますが、これは、子どもが見るので一緒に見えています。広報の情報をネットで得ることが多いので、学校のパソコン画面をさかろんにすればもっと広報を見るのではないのでしょうか。	
会	長	ありがとうございました。 その他、いかがでしょうか。	
委	員	今回のアンケート結果を見て、コロナの影響は大きいと感じました。	
会	長	ありがとうございました。 他にご質問等なければ、次の議事に移ります。	
事	務	局	審議事項（3）説明。
会	長	ありがとうございました。 何かご意見、ご質問ありますか。	
		質問無し	
会	長	特にご質問等は無いようですので、今後について事務局からご説明をお願いします。	
事	務	局	ありがとうございました。次回以降の審議会の日程等についてお知らせします。令和5年度につきましては、計画策定の年度になりますので、審議会を4回予定しております。委員の皆様には大変恐縮ではございま

	<p>すが、ご協力をお願いします。令和5年度の審議会第1回は、6月下旬から7月上旬を予定しております。日程が決まり次第、皆様にご連絡致します。場所は坂戸市立市民健康センターを予定しています。主な審議事項は、計画骨子・素案の検討、現行計画の事業の実施状況の報告を予定しています。説明は以上になります。</p>
委 員	<p>申し訳ありません。最後にご意見良いでしょうか。 次期計画には「公民連携」という言葉を取り入れたらどうでしょうか。最近では「官民連携」という言葉はあまり使われていません。県内ですと、さいたま市、行田市、ふじみ野市で「公民連携」という言葉を政策の中に入れてきています。官民だと行動原理の主体が自治体になりますが、公民連携では行動原理の主が民になります。こういった枠組みの工夫が、坂戸市健康なまちづくりの新しいアピールポイントになるのではないのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございました。本日の予定していた審議事項について全て終了しました。スムーズな進行にご協力していただき、ありがとうございました。以上を持ちまして、本日の審議会を終了とします。</p>